

しあわせな

王子おうじ

オスカー・ワイルド



町まちを見下ろす たかい だいの 上うへに、しあ
 わせな 王子おうじの ぞうが 立たって いました。
 からだには 金きんが はられ、目めや、こしの け

んには、いろとりどりの
 ほう石せきが ちりばめられ
 た、とても うつくしい
 ぞうです。

ある よる、一いちわの
 つばめが 王子おうじの 足あしも
 とに やって きました。

つばめが 休やすんで いると、ぽつんと 水みずが お
 ちて きました。それは、王子おうじの なみだでした。
 「あなたのように、うつくしい かたが、どうし

読よんだ日ひ月がつ日にち① しあわせな 王子おうじの ぞう

は、どこに 立たって いまし
 たか。() に あう こと
 ばを かきましよう。

・町まちを 見下ろす たかい

に 立たって いた。

② 王子おうじが なくて いたのは、

どうしてですか。一ひとつに ○
 を つけましよう。

ア ひとりぼっちで さびし
 いから。

て かなしそうに なくのですか。」

「たかい だいの 上からは、びよう気の 子どもや、まずしくて パンを かえない 人たちが 見えます。でも、わたしは うごけず、なにも して やる ことが できません。それが かなしいのです。そうだ、わたしの からだの ほう石や 金を はがして、みんなに あげて くれませんか。」

つばめは、まい日 すこしずつ、まずしい 人たちに ほう石や 金を はこびました。

いつの まにか、王子は なんの かざりもない、みすばらしい すがたに なりました。

けれども、町は 子どもたちの げん気な ことえで いっぱいになりました。

それを見た 王子は、とても しあわせでした。

イ うごけないので どこに

も いけないから。

ウ こまっている 人たちに なのにも して やれないから。

③ つばめが まずしい 人たちに

ちは はこんだ ものは、な んですか。

・王子の からだから はが

した



④ 子どもたちの げん気な

ようすを 見た 王子は、ど んな 気もちでしたか。

・とても



だった。